

建退共の予定利率がアップ ～組合の要求が実現～

建退共とは、建設業で働く労働者のために、国が設けた退職金制度。個人事業主や1人親方も加入することができ、毎月、自分自身が掛けることで、将来、自分が受け取る退職金を自分で積み上げる制度になります。そして、退職金額は、積み上げた掛金に運用利率をプラスアルファして、リタイアした時に支給される仕組みになります。今回、厚生労働省は、建設職人の処遇改善を目的に、退職金額に大きく影響する予定利回りを現行の1.3%から1.5%に引き上げることを発表しました。2026年10月をめどに適用を開始するとしています。建退共制度を審議する厚労省の専門部会には、組合の仲間が参加しており、私たちが建退共制度の改善を求めてきたことが成果となっています。

*建退共は、個人事業主や1人親方以外にも、事業主に雇用されている労働者も当然、加入することができ、その掛金は事業主が負担することになっています。

納付年数	利回り1.3% (現行)	利回り1.5%
2年	161	161 (0)
3年	242	242 (0)
5年	414	415 (1)
10年	894	903 (10)
20年	1,933	1,970 (36)
30年	3,039	3,142 (103)
40年	4,268	4,469 (201)

※かっこ内は現行利回りとの差額

3月23日の分会総会で資格確認書 (保険証に代わるモノ)を配布します

3月23日の分会総会(保険証交換会)には、保険証に取って代わる①資格確認書、又は、②資格情報のお知らせのいずれかを配布します。(3月分の保険料未納の方は支部預かり)分会総会は、分会ごとに開催時間・場所が異なりますので、所属する分会役員に確認をお願いいたします。

また、今回配布する資格確認書があれば、今までと同じように医療機関に受診することができます。今までと何も変わることはありません。

春の拡大月間が始まります 引き続き、ご協力をお願いいたします。

3月25日より約2か月間、毎年実施している仲間を増やす運動“春の拡大月間”が始まります。分会目標10名、支部目標298人の達成を目指して取り組みます。

労働組合の原動力は、組合員の数です。この間、東京土建では、数を力に、さまざまな要求を実現してきました。建設職人の仕事と暮らしを守るために、皆様のご協力をお願いいたします。

土建国保の引上げ理由 ご理解の程、よろしくお願いいたします。

2025年度の土建国保料は、本人区分で500円～3500円、家族区分(一般・成人男性)で400円の引上げとなりました。今月の群会議の話題では、引上げ理由を更に詳しくお知らせ致します。

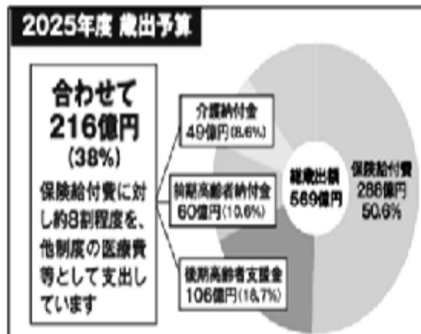
引上げ理由①(医療費が高騰している)

組合員さんの一人当たり医療費(国保組合負担額)は、2021年以降、増加し、コロナ前を大きく上回る水準となっています。原因として、コロナ禍における受診抑制の反動、インフルエンザ・肺炎などの感染症の流行、高額薬剤の普及などがあげられます。



引上げ理由②(他制度への拠出金が激増している)

組合員さんから支払われた保険料と、国や東京都からの補助金の一部は、他の制度(介護給付、前期高齢者納付金、後期高齢者支援金)を支えるためのお金として、国から徴収されています。徴収されたお金を拠出金と呼びます。国全体の高齢化が急速に進む中、一人当たり拠出金額は、制度創設時(08年)と比べ、後期支援金で約2倍、前期納付金で約20倍にもなっており、歳入総額の約4割を占めています。高すぎる拠出金負担も大きな理由です。



引上げ理由③(国からの普通調整補助金が減額)

組合員さんの努力によって、国・東京都からの補助金はこれまでの水準を維持していますが、組合員さんの所得が少ない国保組合に補助される「普通調整補助金」が、大きく減少しています。3年に1回の所得調査のたびに、仲間の所得は伸び、2022年は、前回(2018年度)と比べると約10%増となりました。医療費・拠出金が大幅に伸びている中で、補助金が減るような仕組みには矛盾があります。

引上げ理由④(2021年～2023年の保険料据え置き)

土建国保組合は、財政計画で「その年に支払うお金は、その年に入るお金でまかなう」ことを基本として運営を行っていますが、仲間がコロナ禍や物価高に苦しむ状況下、2021～2023年度の保険料を据え置きました。そして、この間、上記の3つの出来事が連続して起こったため、組合が支出するお金(医療費・拠出金等)に対し、収入(保険料・補助金等)が足りない状況が続いてしまったため。

土建保険料の伸びを抑える取り組み

- ①国、東京都補助金を増額(議員・ハガキ要請)
- ②病気の早期発見と早期治療で医療費を抑える
- ③健康診断と保健指導の利用で病気を予防する
- ④組合を大きくして、多くの仲間が土建国保を支える

群会議の話題

東京土建足立支部

足立区梅島1-2-26

TEL:03-5845-5011

FAX:03-5845-5014

No573

毎月15日発行

2025/3/15

- ◆今月の署名 その他
- ①G L P昭島プロジェクト計画に同意しない署名・・・群3枚
 - ②3月6日中央決起集会の参加要請・・・全分会から4人
 - ③夜間相談日・・・3月19日(水)事前予約が必要です

2025年3月の講習会募集

■お問い合わせ■
東京土建足立支部 講習担当 03-5845-5011

■申し込み方法■

足立支部事務所にお越しいただき、お申し込みください。（受付時間 9：00～17：00 土日祝日を除く）

■必要なもの■

- ①受講申請書（支部にございます）
- ②受講料
- ③在留カード（外国籍の方）
- ④受講者の証明写真（45×35ミリ 6か月以内に撮影のもの）※スナップ写真の切り抜き・アプリ等で作成したものは不可
- ⑤会社のヨコ判・代表者印（会社でお申込みの場合）
- ⑥（2日間以上の講習の場合）【事業所の従業員の方】・・・雇用保険被保険者資格取得等確認通知書のコピー
【一人親方労災特別加入者の方】・・・加入者証のコピー

■申し込み締切■

講習日の15日前までにお申し込みください。（講習日の15日前が支部の定休日にあたる場合はその直前の営業日）
定員人数に達し次第、締切日前に申し込み受付を終了することがあります。

■組合員以外の受講について■

条件や、講習によっては受講できないことがありますので、事前にお問い合わせください。

■その他 注意事項■

- ・各会場には駐車場がありませんので、来場にあたっては公共交通機関をご利用ください。
- ・資格準備講座をお申込の方は、ご自身で試験日程の確認と受験申込を行ってください。講座の受講料に資格の受験料は含まれません。

講習番号と講習名	日程	受講料	受講資格/対象	内容
1 木造の組立て等	次回 2025年度予定			軒高さ5m以上の木造の組立・下地・建具枠の取付作業
2 足場の組立て等	5 / 27～28 (火水) 技術研修センター(池袋)	12,000円	18歳以降の経験3年以上	※2015年7月以降の経験は特別教育修了証の添付が必要です つり足場、または高さ5m以上の構造の足場の組立・解体・変更の作業
3 型枠支保工	次回 2025年度予定			コンクリート打設に用いる型枠支保工の組立・解体作業
4 鉄骨の組立て等	次回 2025年度予定			高さ5m以上の鉄骨の組立て・解体の作業
5 コンクリート解体	次回 2025年度予定			高さ5m以上のコンクリート造の工作物の解体・破壊
7 地山及び土止めの掘削支保工	5 / 28～30 (水木金) 技術研修センター(池袋)	18,000円	経験3年以上	掘削面高さが2m以上となる地山掘削と土止め支保工組立て(腹おこし、切りばり、中間杭打ち等)作業
8 有機溶剤	5 / 21～22 (水木) 技術研修センター(池袋)	12,000円	18歳以上	有機溶剤指定物質のほか、塗料・シンナーに含有のエチルベンゼンや塗料剥離剤のジクロロメタン等を扱う作業
9 石綿	4 / 9～10 (水木) 技術研修センター(池袋) ※申請について注意事項あり・詳細はご所属の支部へ	12,000円	18歳以上	建築物の解体・改修で石綿が含まれる建材を除去する作業
10 酸欠・硫化水素	5 / 13～15 (火水木) 技術研修センター(池袋)	20,000円	18歳以上	暗渠・マンホール・槽・ピットなど酸素欠乏症や硫化水素中毒にかかるおそれのある場所での作業
50 特定化学物質	次回 2025年度予定			防水材などに含まれる特定化学物質を扱う作業
14 職長・安全衛生責任者教育(リスクアセスメント含む)	① 4 / 8～9 (火水) 技術研修センター(池袋) ② 5 / 22～23 (木金) 技術研修センター(池袋)	15,000円	20歳以上が相応しい	常時現場で直接指揮監督する「職長」と、元請との間で仕事の連絡・調整する「安全衛生責任者」となる方への教育。リスクアセスメント教育も実施します
17 職長能力向上教育	次回 2025年度予定			国の新たな指針で、おおむね5年毎に受講が望ましいとされています
15 足場能力向上教育	次回 2025年度予定			作業主任者修了者はおおむね5年毎に受講が望ましいとされています
44 新入職者教育	6 / 17～18 (火水) 技術研修センター(池袋)	10,000円	18歳以上	入職者に対して事業所が行う法定の「雇入れ時教育」の一部を実施、「振動工具」「石綿特別教育」の従事者教育も取得できます
99 振動工具	4 / 11 (金) 技術研修センター(池袋)	7,000円	18歳以上	振動工具を長時間・断続的に使用する事によって、末しょう神経障害などの職業病に繋がります。正しい知識を持って使用できるよう学習します
43 足場特別教育	4 / 15 (火) 技術研修センター(池袋)	8,000円	18歳以上	足場組立て・解体・変更の作業に必要。脚立足場・可搬式作業台の連結・ローリングタワー等も足場扱いになります
49 フルハーネス特別教育	4 / 16 (水) 技術研修センター(池袋)	8,000円	18歳以上	高さが2m以上の箇所において作業床を設けることが困難な場合は、フルハーネス型を用いて行う作業に必要
18 酸欠・硫化水素特別教育	次回 2025年度予定			暗渠・マンホール・槽・ピットなどでの作業
19 低圧電気	次回 2025年度予定			電動工具で使う仮設電源の開閉器の操作に必要な教育
57 巻上げ機	次回 2025年度予定			動力により駆動される巻上げ機(ウインチ)の運転
48 ロープ高所作業	次回 2025年度予定			ビル外装清掃・法面・屋根・板金工事などでのロープ作業
16 石綿特別教育	4 / 21 (月) 技術研修センター(池袋)	5,000円	18歳以上	石綿が使用されている建築物等の解体・リフォームの作業に従事する労働者は、作業前に受講が必要
21 自由研削砥石	4 / 22 (火) 技術研修センター(池袋)	8,000円	18歳以上	グラインダ(自由研削砥石)運転、砥石取替作業に必要
22 丸のこ	4 / 23 (水) 技術研修センター(池袋)	5,000円	18歳以上	丸のこは使用頻度が高く、事故も多発し重症となる例も多いため、正しい知識を基本から学びます
23 熱中症	① 4 / 23 (水) 技術研修センター(池袋) ② 5 / 26 (月) 西多摩支部会館(青梅線小作駅近く)	4,000円		熱中症は建設現場で多く発生しており、早めの対策が必要なことから、予防教育を行ないます
24 丸のこ・熱中症セットコース	4 / 23 (水) 技術研修センター(池袋)	8,000円	18歳以上	多くの組合員に必要とされる「丸のこ」「熱中症」の2つの特別教育を同時に取得できる、セット割引コース
25 電動工具安全取扱セットコース	4 / 22～23 (火水) 技術研修センター(池袋)	15,000円	18歳以上	「自由研削砥石」「丸のこ」「熱中症」特別教育3つセットの割引コース
56 石綿・電動工具セットコース	4 / 21～23 (月火水) 技術研修センター(池袋)	19,000円	18歳以上	「石綿」「自由研削砥石」「丸のこ」「熱中症」特別教育4つセット割引コース。改修工事は石綿も必要となります
27 ガス溶接	次回 2025年度予定			可燃性ガスを使用する溶接・溶断の作業に必要
28 アーク溶接特別教育	次回 2025年度予定			アーク溶接作業は作業前に受講が必要
11 玉掛	5 / 15～17 (木金土) 1・2日目:技術研修センター(池袋)・3日目:西多摩支部会館(青梅線小作駅近く)	24,000円	18歳以上	(☆☆☆ 組合主催 ☆☆☆) つり上げ荷重1t以上のクレーン等の玉掛
12 小型移動式クレーン	4 / 17～19 (木金土) 1・2日目:技術研修センター(池袋)・3日目:西多摩支部会館(青梅線小作駅近く)	35,000円	18歳以上	(☆☆☆ 組合主催 ☆☆☆) つり上げ荷重5t未満の移動式クレーン運転
13 車両系建設機械(整地等)技能講習	次回 2025年度予定		小型車両系建設機械特別教育修了後、実務経験3～6ヶ月	整地・運搬・積込・掘削用機械の運転(機体重量3t以上)
80 車両系建設機械(解体)技能講習	次回 2025年度予定		整地技能講習修了者	ブレーカー、鉄骨切断具、コンクリート圧砕具及び解体用つかみ具をアタッチメントとして装備するもの(機体重量3t以上)
他 住宅リフォームエキスパート(増改築相談員)	次回 2025年度予定			
建築士講習 (NPO東京土建ATEC)				
専用	建築士定期講習	次回 7月開催予定	10,000円	3年度ごとに受講義務
	管理建築士講習	次回 2025年度予定	12,000円	管理建築士になる方